

毎月1日発行 平成3年1月25日第3種郵便物認可

発行人 清田 廣

編集人 豊田伊津美

購読料(送料共)年間3,000円1部50円

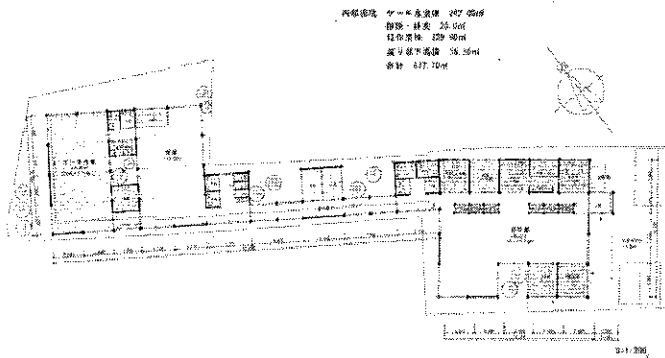
(会員の購読料は会費に含む)

社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会・後援会

〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥11番

TEL 072-959-2252 FAX 072-959-2632

(仮称) 泉州聴覚障害者センター 新築工事 計画案 (中庭TYPE) 2014.07.15 168K



建設用地貝塚市に購入

「センター開設を歓迎！障害者福祉と地域交流の場としての期待寄せられる」

施設建設委員会事務局 吉見 剛二

センター建設用地を、貝塚市半田に購入しました。JR東貝塚駅から300mに位置し、病院、銀行、店舗、こども園が立ち並ぶ住

宅街の生活道路に面した土地。

7月26日に地元半田町会長と地元選出の市会議員に、8月7日に地元の水利

組合長に、9月2日に町会

の評議員に施設の説明と協力をお願いに伺いました。

出席者から「営利目的なのか？」「自治会へは加入し

てもらえるのか？」「相談支援は、聴覚障害者以外の

障害者も対象となるのか？」などの質問と同時に、「子ども達も学校で手

話を学んでいる。人権教育の場としても・・・」との意

見も出され、「いい施設なので頑張ってください」と

励ましをいただきました。

法人からは、「手話教室や職場体験の場としても活用して頂きたい」と、地域と共に歩む姿勢を約束しました。

また、国庫補助金の申請・獲得と開設にむけての

協力依頼のため、泉州各市町を訪問。1市を除くすべ

ての市町から「泉州地域には、手話ができる職員が十分に配置された施設はな

く、安心してサービスを利用することができない状況にある。泉州地域の聴覚障

害者福祉の拠点と、共生社会の地域づくりを進める中

心的な役割を担う施設となること期待する」との意見

書が提出されました。大阪

府も各市町からの意見書に

関心を示されています。訪問を通じて大阪聴覚障害者協会、泉州ブロックの各市町の協会と手話関係者、法人との共同した取り組みが

今までにはない成果を生み出しました。

そして、9月から建物実設計を進めています。

一昨年に実施した泉州地域生活実態調査での、「お

しゃべりの場、働く場、盲ろう者の支援・・・」等の切

なる願いや要望の実現を柱に、地域住民、行政の期待

に込えられるようなセンター開設と権利の実現を共同

の運動で大きく進めましょ

障害者支援施設 **なかまの里** / グループホーム「やすらぎ」

〒590-0441 大阪府泉南郡熊取町大字久保 2329
TEL 072-453-7545 FAX 072-453-7532

9年に及ぶ施設建設運動の結果、1994年4月1日に開所。「施設の主人公はなかま(利用者)」を合言葉に「いきいきとした豊かな暮らしと社会参加」を目指しています。



「夏の連休期間の取り組み」

8月11日(土)～8月15日

(水)の夏季休暇期間に於いて、なかまの里では余暇活動を実施しました。内容は、花火大会、メダカすくい、水遊び、ヨーヨー釣り大会、プラ版製作です。

特に、メダカすくいは、日頃、生き物を見たことがないなかまが多く、魚が泳いでいるのを見てびつくりするなかまもおり、又、昔、子供の頃にメダカすくいをしたなかまもいるようでした。初めてのなかまは、ポイ(金

魚すくいに使う網)ですくうのが難しく何回もすくう様子がありませんでした。子供の頃にすくったことがあるなかまは、簡単に数匹すくっていました。なかまはみんな笑顔で、普段おとなしいなかまも自分から進んで楽しませていました。

ヨーヨー釣り大会は、午前中になかまと職員と一緒に風船に水を入れ、ヨーヨー作りをしました。何をするかわからないなかまが「これ何?」と聞きに来られ、「午後から皆でヨーヨーを釣るんですよ。」と言うと「なる

ほど!」と驚いた様子でした。ヨーヨー釣りでたくさん釣れたなかまには、釣った分だけプレゼントしています。ヨーヨーを手を持って楽しそうに遊ばれていました。又、持ち帰って居室に飾るなかまもおり、取り組み後も楽しんでいただいている様子でした。

プラ版製作(プラスチックの板に絵や名前を書きトースターで3分焼くと絵、名前が縮む。)では、なかま全員で好きな絵や自分の名前を書きトースターでプラ版を焼きました。プラ

版が縮んで行く様子を見てビックリしているなかまもいました。出来上がったプラ版は、キーホルダーやペンダントにしました。夏の連休期間の楽しい思い出になったと思います。

これからも、なかまが楽しい余暇活動ができるように職員一人ひとりが良いアイデアを出し合い、なかまと一緒に楽しい時間を過ごして行けるように取り組んで行きたいと思えます。

なかまの里援助部… 續 泰成



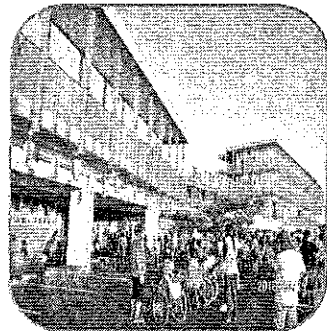
ヨーヨー釣り大会&メダカすくい。皆さんと楽しみました!!

＝あすくの里 特別養護老人ホーム/ショートステイ/デイサービス/ケアプランセンター＝

〒583-0842 大阪府羽曳野市飛鳥11番
TEL 072-957-1764 FAX 072-957-1875

「あ：安心して す：健やかに く：暮らす」の願いを込めて2005年4月1日開所。入居者一人一人の願いや思いに寄り添った生活支援と介護を行っています。

第12回夏祭り



毎年恒例、今年で12回目となる「あすくの里の夏祭り」を8月25日(土)に開催しました。

第一部では屋台やゲームをポランティアの方々やご家族と一緒に、皆さん思い思いに楽しんでおられました。当日は、なかまの里とあいらぶ工房からの出張販売もあり、パンやソフトクリーム、クッキーを購入して楽しんでいただくことも出来ました。

第二部の催しの案内が始まると、たくさんの方が舞台前に集まりました。舞台では愛友会(入居者の自治会)会長の挨拶で始まり、最後は打ち上げ花火

で締めくくられました。

「楽しかった!」「もっとたくさん食べたかった」など感想も様々でした。

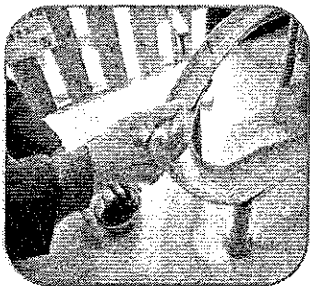
夏祭りは、施設内の大きな行事のひとつです。大変暑い中にも関わらずご協力いただきました皆様、ありがとうございます。

(特養部 坂部 好美)

納涼流しそうめん

8月17日(金)、4階東フロアで「流しそうめん」を行いました。他のフロアから流しそうめんの機械を借り、3人ずつグループになり、入居者の皆さんと涼しい時間を過ごしました。

上から流れてくるそうめんを



なかなか取れずにいた方もおられました。徐々にタイミングを合わせられるようになり、次から次へと美味しそうに召し上がっていました。皆さん「美味しかったです」と、とても笑顔で喜んでおられました。

(特養部 高田 理津子)

今月の俳句

負け戦 焦土に帰す 偲ぶ種ぐま

特養 植附 一郎

日本の城をめぐる、米人の親日家ブラウン博士(前京大教授)が、日米開戦直前帰国。それとなく、米国の議会に座席し、この城は文化史に関係があるから、保存願望・必要性を説明できる証人として理由ある事実を申し立てたのである。

これを軸に検討経た結果、空爆落下不要という許可経由を通して、国防省に到着してから、「落下不要」を実際のこととして、守ることができたのであった。よって、京都や奈良の多くの文化財(寺社等の世界遺産)が現在に残っているのである。しかし、広島と長崎では、造船工場が関係のある戦艦大和あるいは伊号潜水艦いずれの有名な武器とは文化以外の問題であり、敵とみなすから恐怖弾を落下されたわけであったのでした。

＝ あいらぶ工房 ろう重複障害者通所施設

〒552-0023 大阪府大阪市港区港晴 1-7-4
TEL 06-4395-7588 FAX 06-4395-7589

2007年4月1日、大阪市港区に開所。「ろう者のオアシスになってほしい！」という家族の言葉どおり、多くの人たちが集う場を目指しています。

台風の影響で、まさかの展開!!

～ 第7回なかま旅行(後編) ～

先月号で、旅行に向けた準備やなかまが楽しみにしている様子の原稿をお読みいただいたと思いますが、実はなかま旅行の前日に『延期』という判断をさせていただきました。旅行プランや交通状況には問題がなかったのですが、出発2日前の台風21号の影響で、なかまや職員の自宅、あいらぶ工房の建物に被害がでており、旅行を安全に楽しむための支援体制が確保できない為、延期という判断をしました。大阪市内にもまだまだ台風の爪痕が残っています。このような状況なので止むを得ない判断であったとは思いますが、2年間楽しみにしていたなかまは非常に残念がっていました。納得できずに送迎バスに乗ろうとしない、いつもとは違う行動がみられる、イライラしている等々、この一件に関係した報告が

続いていました。

日が経つにつれ、施設もなかまも少しずつ落ち着いてきています。延期日は決まっていますが、こんなに楽しみにしている行事なので、なんとか今年度中でできるように再調整を行っています。残念がっていたなかまもこの状況をみて、「温泉入るなら冬の方が良い。延期で良かったかも。」「どうせなら、カニを食べるプランに変更しませんか?」と、前向きに受け止めてくれます。職員も「延期するなら、なかまがもっと楽しめるようにしよう!」と気持ちを切り替えています。

(総括主任 住森智史)

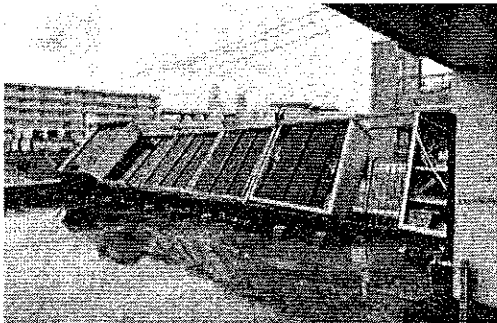
台風21号恐るべし

9月に入ってすぐに「4日に台風が来る、かなり大型らしい」と報道が繰り返しあつたので、急遽4日は閉所に決めました。職員は出勤できる人で旅行準備をしたり、納期の迫っている作業をしたりして台風が通り過ぎるのを待ちました。そんな中、心配で外の様子を見に行つた職員から「倉庫が3階から落ちそう」と知らせを受けて見に行くところ写真の通り、大変なことになっていました。警察や消防に電話してもなかなか繋がらず、やっと繋がってもなす術が無く、台風が収まるのを見守るしかありませんでした。他にもいくつか建物に被害がありました。

第2グループホームは停電と断水で暮らすことができません。2日間第1ホームやあいらぶ工房に避難しました。家が停電しているなかまも何人かいて連絡が取れず、翌日あいらぶ工房に来てから携帯の充電をもらった方もいました。職員の中も被災した人がいました。

毎回台風が来る時は閉所するかどうか、判断に迷います。1日閉所するとその分、国からの報酬が入ってきません。それが続くといくら工房は運営できなくなってしまう。安定した経営ができるよう国は考えてほしいと切に願います。

(施設長 松崎恵美)



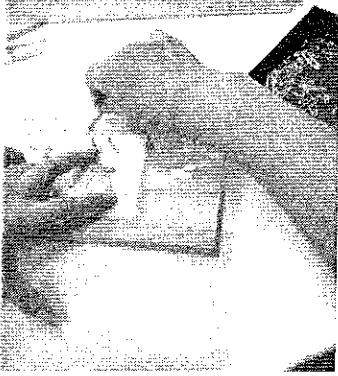
倉庫が3階から公道に落ちそうでした

ほくほく 北摂聴覚障害者センター

〒564-0002 大阪府吹田市岸部中3-13-4
TEL:06-6387-2015 FAX:06-6387-2100

2015年4月に吹田市に開所。北摂の聴覚障害者の
願いで実現した聴覚障害者専門の通所施設です。
愛称の「ほくほく」の通り暖かくて優しい気持ちにな
れる地域に開かれた施設を目指しています。

「タオル・手ぬぐい加工作業」



ほくほくの作業は下請けの加工
作業がほとんどです。その作業
内容を以下一部紹介します。
「新しい仕事オレンジリボン」
「オレンジリボン運動」は子供
の虐待防止のシンボルマークとし
てこのリボンを広めることで子供
の虐待をなくす事を呼びかけて
います。大阪府からの委託で5
千個を初めて受注しました。10
月末納期です。幅6ミリの細い
リボンを12cmにカットするところ
から始めます。それを丸めて間
に小さな安全ピンをはさみます。
出来上がりはピンクリボンの形
と同じです。とても細かい作業
ですが手作り治具と用具を使い
順調にでき上げています。

タオルや手ぬぐいをたたみ、の
しを掛けて袋に入れシールをは
ります。簡単そうですが材質や



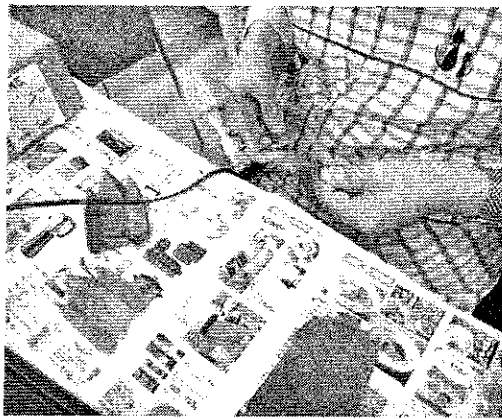
サイズも、まちまちで絵柄や文
字を上手に表面に出すために、
いろんな工夫が必要です。

4〜5人のグループに分かれ
て折り方を説明してからスター
トです。利用者は、段ボールの
型紙を片手に持ち途中で、サイ
ズを確認しながら進めます。ま
た特に折り方の指定があり決め
られた通りに2ミリ3ミリと合
わせる神経を使う作業もあり
ます。

最終は小さなシールを決まっ
た位置に貼る事もあり、これは
真つすぐ、超手早く貼れる利用
者がいます。頼もしいです。

「 balan 作業・舟づくり作業」

balanとは、お弁当に添えて
ある緑色の仕切りです。形は
色々で松、海老、大葉、もみじ、
笹等の形にプレスした物を、手で
くり抜きゴムでまとめます。分
厚いのである程度の力が必要で
す。今は秋の季節に合わせた赤
い色のもみじのbalanの作業です。



わさびを入れて添える笹舟の
形をした小さな「舟」を作る作
業はコツが要り、誰でも出来る
わけではありません。超音波の
出る簡単な器具を握って圧着

するのですが、見てみると絶妙な
タイミングで正確に圧着し、スベ
シヤリストだなど、感心します。

「パンフ、サンプル品封入作業」

封入作業で多いのは、小さな
歯磨き粉のチューブです。流れ
作業でまず10個数えて紙コップ
に入れ、次はそれを小さな袋に
同じ向きにきれいに並べて封を
します。これもなかなか難しい作
業です。最後は大きな袋にパン
フレットと一緒に入れて封をし
ますが、最終チェックで重さを量
ります。今年度はデジタル秤を
購入して、よりスピードアップし
ています。パンフレット1枚でも
多かつたり少ないと、すぐに見つ
けることが出来ます。この作業
は単価が高いので、受注できる
と仲間も職員も大喜びします。

その他「小豆」の選別の作業は、
平らな容器に少しずつ取り出し、
割れ、キズ、へこみ、しわ、変色な
ど、不良品を取り除きます。目
視のみで根気の要る作業です。
色々な作業を受けて工賃アッ
プにつながるため、毎日取り組
んでいます。(支援員山下節子)

障害福祉サービス報酬改定に伴い、 福祉サービスはどう変わるのか? 【後編】

あすくの里施設長 吉見剛二



(7月22日家族のつどい講演より)

9月号より続き)

どんな生活?個人の自由!

なかまがどんな生活をするかは個人の自由です。親や他の人が決めてはならないと法律にあります。障害を持った人が安心して暮らせるネットワークが必要です。今回の報酬改定では、障害の重い人への事業が作られています。例えば、自立生活支援事業です。一人で地域生活する人を定期的に巡回訪問して、サービスに結び付けていく事業です。それと、重度の訪問介護です。自宅だけでなく、重度のなかまが入院した時にも、柔軟に支援ができる制度になりま

した。外出時のガイドヘルパーが宿泊も認められるようになりましたが、学校や仕事に通うことは認められていません。障害者を雇っている企業も責任を持つべきという方針が出されています。

グループホームで生活をし、日中は施設や仕事に通うのが原則ですが、障害の重い人は日中の支援もグループホームですることになります。レクリエーションや楽しい取り組みをすることになります。定員は20人が最大で、ショートステイもいれることになっています。職員も普通は5対1ですが、4対1または3対1と重度者に対応できる制度になっています。

なかまの里の将来も考える課題

障害者の暮らしを支える課題

は、なかまの里の将来を考える課題にもなります。個人の尊厳が守られているか? プライバシーが守られているか? 自由さはどうか? 大切なことです。障害が重くても地域で暮らせるグループホームを立ち上げて、24時間支援ができる体制をどう作るか、グループホームで困ったときに施設がどう支えるかが課題になると思います。

暮らしの支援だけでなく、地域に移行していくことも大切にしてほしい。今後、グループホームを増やしていくときに、他のデイサービスや地域のホームヘルパーなどの地域資源を利用しながら暮らしていくことも大切です。手話ができるガイドヘルパーやホームヘルパーを育てることが大切です。また、強度行動障害を持った人を受け入れられる施設はなかなかありません。なかまの里が受け入れられる力量を持つことが大切だと思います。高齢のなかまを24時間支援していく仕組みも必要

だろうと思います。

緊急対応はまだ不十分

これから、施設や地域のグループホームで暮らすための、家族や地域のネットワークについて整理すると、まずは、母子分離が必要だと思います。また、グループホームだけでは生活ができない。ホームヘルパーやガイドヘルパーなど複層的な支援が必要だと思います。困ったときにショートステイが受けられるシステムづくりが必要だと思います。

ろう重複障害者のようにコミュニケーション障害のある場合、手話通訳の保証と同時に手話の通じる集団の保証が必要だと思います。また、年齢にあった支援体制を考えることも必要です。

大阪府も2年前の調査で「地域生活支援の拠点が必要」という方針を持っています。しかし、大阪府がつくるのではなく、市町村につくらせる方針です。現実には相談支援の事業所が不足していま

す。24時間365日相談体制ができていのは虐待がある場合だけです。障害者の緊急対応はまだまだ不十分です。行政の責任のもとに進めていくことが大切です。

人として暮らしていける、望む生活を!

グループホームを立ち上げても体験ができないと不安です。なかまの里や、ほくぶのショートもいつも満床です。何かが起こったときに、空床をつくっておく、その財源を行政が保証することを府交渉でも出していくべきだと思います(堺市は既に空床を3床持っています)。また、専門的な人材養成と地域のネットワークづくりが必要で、緊急の時に連絡を受けてサービスマンに結び付ける障害者のコーディネーターと受け入れ先の確保が必要になります。

地域生活を支えるための入所施設としての専門性を高める必要があります。地域で生活している家族の負担軽減も必要です。安倍首

みんな幸せに! 2018年幹事の抱負(その1)

新旧あわせて幹事一同がんばります。一言宣言(その1)です。

徳田幸子(とくだゆきこ)です。幹事として、みんな幸せになれる方法を一緒に探したいと思います。(北摂・個人幹事)

中村克巳(なかむらかつみ)です。幹事として、誰でもができる幹事、やってみたくなる後援会活動を目指して頑張りたいと思います。(個人幹事)

杉本好美(すぎもとよしみ)です。仲間(後援会会員)を増やしたい!1500名超えたい!家族の会、冊子を発行して多くの人に感動してほしい、そして仲間を増やす。一泊学習会を企画して、一緒に楽しみたい、そして仲間を増やす。それが夢です。(ろうあ会館)

内野(うちの)さとみです。大聴協と後援会との架け橋を繋がって活動方針の目標を達成(成功)して楽しくしたいです。みんなの手をつなぎ、共に活動を!どこでも行っても困らない社会をめざしたいと思います。(大聴協京阪・個人幹事)

菱田伊津美(ひしだいづみ)です。「楽しくなきゃ活動じゃない!」を肝に銘じて行きます。最後のお勤めのつもりで取り組みます。(個人幹事)

竹中順一(たけなかじゅんいち)です。幹事として後援会活動に対する理解を広めたいと思います。(北摂)

相の言うような、皆が支える「我が事・丸ごと」の政策を目指しているわけではありません。一人ひとりが人として暮らしている、その人が望む生活を保障することが大切なのです。

骨格提言が求める福祉が進めら

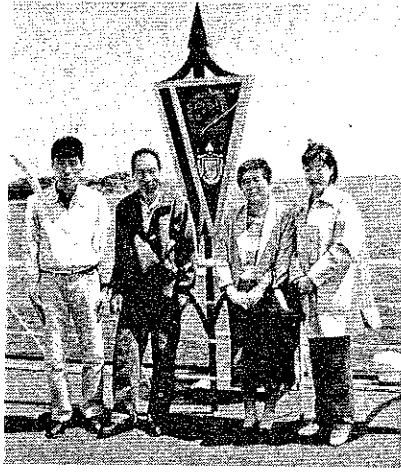
れているか、それをポイントにチェックをしてください。介護保険優先の原則が進むと、障害者の10%負担が生じる心配があります。次の見直しの時に必ず出てくる食事提供加算の見直しを防ぐことと、報酬支払いを日割りではな

く、以前のようには月払いに戻すこと。また家族の収入に依存する利用者負担はやめさせるべき。介護保険と障害者福祉は違うんだというのをきちんと整理をして、頑張っていきたいと思います。

聞こえない子供2人をもちつて

あいらぶ家族会 宮坂文子

帯より長い長い歩みがありました。父さんのフオーローのおかげで幸男は市立ろう学校を卒業し、妹は堺ろう学校を卒業し、市立の専攻科を出て今に至っています。何と云っても2人共聴覚障害者ですから親の方が弱い気持ちになり、幸男を鳥取の寄宿舎のあるろう学校へ入れようと思っただけに見学に行きました。でも、どうも入れる気持ちになれず大阪に連れて帰ってしま



ました。

それからが激動の親子通学で、3才まではリオネットの訓練を受け、梅田へ、又良い神様があると聞き富田林までお参りに行きました。東京の昭和医大に良い治療があると聞き、父さんと幸男は2人で行ってきました。又広島のろう学校に良い先生がいると聞き、幸男10歳、妹3才で夜行列車に乗り行ってきました。これもありません。

昔の市立ろう学校は小学3年生までは親子通学で、1年生の時に妹が生まれたので、妹を背中におんぶして通学しました。

妹が生まれるに当たり、先生方、お母さん方に相談しました。聞こえなくても兄妹がいた方がいいということで生まれました。女の子で中学まではかわ

いい子供でした。高校へ入ると、どうして耳が聞こえないのに私を生んだのかと反抗しましたが、幸い立派な先生に出会いがあり良かったです。つい最近では、私が「父と母との出会いが無かったら、聞こえないあなた達が生まれなかつたと思う」と話したら、過去は過去と言います。

私の母も86才で旅立ちました。だが、どうしてお前の子供だけがと言っていました。いろいろ苦労はありましたが、「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」に呼んでもらったこともありました。初めて新幹線に乗って東京へ行ったのもいい思い出になっています。

幸男もおもろい人間で、松下精工に行っている時は技術の勉強をし、60人のうち一人だけ合格した技能認定を親はずっと知らず、会社を辞めるまでロッカーに合格証が入ったままでした。

益前には益菓子を提供してくれたり、2年前の四国旅行の時に

は八十八ヶ所のタオルを買って来てくれたりしてびっくりしました。先日パート先からメロンを頂いた時は、仏壇にお供えしてくれました。家からグループホームに帰る時は、仏壇に手を合わせて話して帰っています。人にはない苦労があり、親兄妹にもわかりません。

たくさん書かせて頂き幸せでした。私の残りの人生、今一人になり今が一番幸せです。今の場所です。7年も住んでおります。鳥取から21歳で大阪に出てきた何もわからぬ私を子供が大きくなってくれ、40年の食品店で人との交流を大きくしてくれました。

幸男もグループホームでの生活に慣れ、平日はパートに行き、土曜日にあいらぶ工房に行く事を楽しみにしているようです。本当にオアシスのような場所です。今ある命はみなさまのおかげです。

長々とペンを取りました。思いつくままです。ありがとうございました。

法人後援会は会員一人ひとりに支えられています

2018年度会員 9/10現在

ブロック	個人(ろう)	個人(健聴)	団体
大阪市	71	173	44
北摂	40	100	11
京阪	31	57	19
河内	33	124	22
泉州	54	136	27
その他	6	52	1
小計	235	642	124
合計	877		1,001

●個人会員1500名を、毎年目指してがんばっています。今年度はまだ877名です。継続をされていない方が150名ほど居られます。皆様お声かけにご協力お願いします。

2018年度後援会会員手続きを下された方

赤楚 寿美子	倉田 寿美	中岡 芳子	森田 恵美	(公社)大阪聴力障害者協会
飯田 華子	駒井 雅夫	中尾 邦彦	山口 佳津子	旭区聴言障害者協会
石崎 富士子	佐々木 美恵	長尾 真知子	山本 朝子	手話サークルいいもり
伊藤 悟留	佐藤 修	樋口 多喜子	山脇 圭二	茨木市聴力障害者協会
内海 恵以子	鈴木 邦義	廣田 喜春	吉岡 晴代	大阪市聴言障害者協会
大橋 智子	田中 由美	前田 千加	米田 賀代子	城東区聴言障害者協会
岡崎 卓	土井 捷三	松田 陽子	和歌崎 望	大阪手話サークル連絡会
岡本 祥子	時岡 滋樹	松本 晶行		手話サークル竹の子
木下 美穂子	中岡 正人	宮本 雅美		

会員入会手続き方法

年会費(4月~翌年3月)

①一般個人(1口)3000円、②特別個人(1口)20000円

③一般団体(1口)3000円、④特別団体(1口)50000円

入会(継続)は法人事務所、大阪ろうあ会館、または各施設で受付ています。

郵便振替でもOKです。※ご氏名住所の記入をお忘れなく!

(番号)00910-9-279962

(名義)社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会・後援会

郵便局に置いてある郵便振替払込書(青色)をご利用ください。

※振込手数料はご負担願います。

職員募集中! 詳細はホームページをご覧ください

2019年4月採用 あいらび工房2名、あすくの里5名 募集
まずは施設見学をしてください。(施設にご連絡ください)



8月1日～8月31日の間に次の方々よりご寄付を頂きました。どうもありがとうございます。

岩通アイネット株式会社様、川村龍彦様、株式会社レオクラン様、宮脇典子様、株式会社ケアコム様、日昇観光様、三栄基準寝具株式会社様、愛友会様、日産大阪貝塚北支店様、あいらぶ家族会様、曾我千代香様、撰津手話サークル忘れな草様

【なかまの里・物品寄贈】
大山秋夫様(花火・アイスクリームメーカー)、倉光喜代子様(梨)

【あすくの里・物品寄贈】
黒田恵様(ジュース)

【ほくほく・物品寄贈】
角田千賀子様(菓子)

2018 10月 Oct.

ほくほく	
2 火	吹田市福祉部福祉指導監査実地指導日
8 月	休所日(10/28の振替・職員は研修)
12 金	工賃支給日
15 月	パーベキュー交流会(万博記念公園)
19 金	仲間誕生会1
26 金	職員会議(午前のみ開所)、仲間誕生会2
28 日	全大阪ろうあ者文化祭(長居・物品販売)
31 水	仲間誕生会3

あいらぶ工房	
5 金	ひまわり班外出
8 月	大阪手話フォーラム(販売)
12 金	ひまわり班外出、なかま給料日
13 土	開所日(ペーカリーカフェ営業日) あいらぶバザー、ボランティア懇談会
15 月	健康チェック
18 木	宿泊訓練
19 金	港のつどい(販売)
20 金	誕生日会
27 土	開所日(ペーカリーカフェ営業日)
28 日	ろうあ者文化祭(販売)
29 月	あいらぶフレンズ会役員会
備考	見学1件

法人事務所	
8 月	事務所休業日(体育の日)
備考	土曜日・日曜日・祝日は事務所休業日

あすくの里	
1 月	喫茶店、ボランティア懇談会 作品展(~7日)
3 水	デイ・ショート合同運動会
4 木	マッサージ
7 日	あすくの里家族会役員会・例会、バザー
8 月	喫茶店
9 火	デイサービス制作
11 木	マッサージ
12 金	ワゴン販売
13 土	デイサービス制作
15 月	喫茶店
16 火	散髪
18 木	マッサージ、デイサービスおやつ作り
22 月	喫茶店、デイサービスカレンダー作り
23 火	全国ろう高齡協利用者交流会
25 木	マッサージ
26 金	書道クラブ、デイサービスカレンダー作り
28 日	ろうあ者文化祭参加
29 月	喫茶店
備考	毎週日曜デイサービス休み 毎月10日広報紙発行(デイ・ショート)

法人後援会	
1 月	幹事会
6 土	府下一斉募金、施設建設委員会全体会議
18 木	おいしいデー
19 金	みんな来チャリティ公演22実行委員会
23 火	運営委員会
26 金	法人だより11月号発送作業

なかまの里	
1 月	全体朝礼
3 水	全体会、誕生日会
4 木	なかま心電図、カウンセリング
6 土	シャツ交換、秋の募金
7 日	グループホーム日帰り旅行
10 水	ひまわりサークル
11 木	ケーキ班社会見学
12 金	役員会
15 月	飛行機グループ
18 火	髪や
17 水	なかま会議、給食委員会、いちようサークル
18 木	おいしいデー
19 金	夕食会
20 土	シャツ交換、いずみ缶回収
21 日	ガルボ
24 水	工賃日ガルボ
26 金	役員会、きょうされん職員交流会
28 日	ろうあ者文化祭
備考	会議は変更になる場合があります

発送作業いつも
ありがとうございます

法人事務所移転に伴い「法人だより」発送作業は谷町福祉センターで行っています。ぜひご都合の良い時間だけでもお手伝い頂くと嬉しいです。

11月号発送作業日は

10月26日(金) 18:00~21:00

※16:00頃から作業があります。

金曜日で完了を目指して頑張っています。

ご協力をお願い致します。(編集部)

9月号発送作業をお手伝い頂いた方々
(敬称略)

9月7日(金)

杉田範子、大力憲人、玉置大、林明裕
森本碩子、安川清子、宇高啓子、中川育子
竹本殖保、上田妙子、東川佐智子、中村克巳
小泉佳史

(宛名準備) 牧和子